

科 目 名	ゼミナールⅠ・Ⅱ	備 考
単 位 数	4 単位	

大 久 保 博 樹

映画やラジオにおける音響（効果音、音楽、台詞）の効果と最適化を探究する

1. 講義内容

ジョージ・ルーカスは「スターウォーズ」の映画化が決定すると、真っ先にベン・パートというサウンド・デザイナーと契約をした。ベンは、ライトセイバーのブンブンという音をテレビの前でマイクを動かして創作し、スターウォーズの大ヒットに貢献した。このように、ある世界観で観客を魅了するには、映像構成やストーリー展開などに加え、「リアルな音」は欠かせない。本ゼミでは、映画のストーリー構造を学んだ上で、主に映画やラジオ番組で使われる効果音・音楽・台詞といった音響情報の表現手法と伝達の本質を探究する。

2. 到達目標

映画が「読める」ように映像ストーリー分析を学び、登場人物と観客の感情の動きを把握し、その関係性から音が設定されることを理解する過程で多面的思考力を培う。音響効果の「音の演技」とは何かを探究するなかで、コミュニケーション力としての理解力と表現力とともに創造的発想力を養うことを目標とする。

3. 関連科目

音響制作実習、音楽情報処理演習、ポストプロダクション演習、映像制作実習・演習、音響メディア論

4. テキスト・参考書等

必要に応じて、レジュメや資料を配付する。

- | | | |
|-----------------|---------------------------|----------|
| 【参】 いとうせいこう | 『職人ワザ!』（見えない音の描き方・南二郎） | 新潮社 |
| 【参】 大和定次 | 『音作り半世紀 ラジオ・テレビの音響効果』 | 春秋社 |
| 【参】 シド・フィールド | 『映画を書くためにあなたがしなくてはならないこと』 | フィルムアート社 |
| 【参】 クリストファー・ボグラ | 『神話の法則』 | 愛育社 |
| 【参】 C.G.ユング | 『元型論』 | 紀伊國屋書店 |

5. 授業外における学習方法

指定する映画や音楽は事前に鑑賞し、指定する書籍もよく読んでおくこと。ノートを見返して復習すること。

6. 成績評価方法

ゼミへの出席、参加態度、制作したコンテンツの可能性を重視し、総合的に評価する。2年間、真剣に各自のテーマを探究できる学生のみ履修を認める。正当な理由のない3回以上の欠席は原則として単位不可とする。

春学期授業計画		秋学期授業計画	
第1回	ゼミの概要、運営方法などのガイダンス	第1回	就職指導(メディア系、一般企業)
第2回	ラジオドラマの力 - オーソン・ウェルズ	第2回	シナリオと映像化・音響情報
第3回	ラジオから考える音響効果	第3回	映像と音楽の図解的表現(タルコフスキー)
第4回	音響効果技師 南二郎の「音の演技」論	第4回	映画「宇宙戦争」2005年版と1953年版の音
第5回	ハリウッドのヒット映画とその表現	第5回	映画「Saving Private Ryan」1998年の音
第6回	映像ストーリーのストラクチャ分析の方法	第6回	映画「The Bourne Ultimatum」2007年の音
第7回	映像ストーリーのストラクチャ分析の実際	第7回	映画「The Dark Knight」2008年の音
第8回	映像ストーリーのストラクチャ分析と意味	第8回	映画「Inception」2010年の音
第9回	映像と音響情報(表現的音響)	第9回	映像と音に関する研究成果の確認
第10回	ヴィジュアルダイナミクスと音	第10回	Sound Editing(音響編集)の変化と最新動向
第11回	映画とテーマ音楽	第11回	映像・音響制作演習(1) ワークフロー
第12回	演習(1) 音響が映像に与える影響	第12回	映像・音響制作演習(2) プロダクション
第13回	演習(2) 音響効果と心理	第13回	映像・音響制作演習(3) ポスプロ
第14回	映像と音に関する研究発表	第14回	コンテンツ発表- 理論と実際(分析と作家)
第15回	前期のまとめ	第15回	まとめと展望